

IFHA リリース(和訳)

ロマネ氏が IFHA 会長を退任、エンゲルブレヒト＝ブレスゲス氏が新会長に就任

国際競馬統括機関連盟（IFHA）は、長年にわたって会長を務めてきたルイ・ロマネ氏が本年10月に同職から退くことを発表しました。同氏は、IFHA の設立以来、IFHA 会長を務めてきました。

IFHA 執行協議会は、本年10月から3年間の任期で新たなリーダーシップチームを任命し、ウインフリート・エンゲルブレヒト＝ブレスゲス氏が IFHA 史上2人目の会長に選出されました。1994年にパリで設立された IFHA は、10月に発表されるグローバルマネージメントチームによってサポートされることとなります。

ロマネ氏は、「1994年3月に IFHA が発足して以来、会長職を務められたことは大変名誉で、光栄なことであり、喜びでもあります。27年間会長を務め、私はこの素晴らしいスポーツが世界中で発展してきたことを誇りに思っています。次期会長と副会長は、IFHA 執行協議会と協力しながら、IFHA と国際競馬をより発展させてくれるものと信じています。ウインフリートが IFHA 会長に就任したことを心から祝福したいと思います。彼は、競馬の世界的組織を将来的に更なる高いレベルに引き上げるために必要なビジョン、エネルギー、優れたリーダーシップの資質を持っていると確信しています」と述べました。

なお、ロマネ氏は、IFHA への多大な貢献が認められ、執行協議会から名誉会長として任命され、10月に就任することとなります。

エンゲルブレヒト＝ブレスゲス氏は、「ルイが成し遂げた IFHA への顕著で持続的な貢献を再現できる人はいないでしょう。彼は、人生を競馬の発展のために捧げてきました。競馬の国際化を推進し、国際競走を支えるための条件を整え、推進するために長きにわたり尽力されてきました。また、禁止薬物のない競馬の推進に断固として取り組み、特に『競馬と生産及び賭事に関する国際協約（通称：パリ協約）』の第6条を大幅に見直しました」と語りました。

「また、IFHA のガバナンスを強化することにも取り組んできました。その結果、よりグローバルに統合された近代的な組織が設立されることとなりました。IFHA メンバーの豊富な専門的知識、才能、経験を活用しながら、その拠点につ

いては引き続き IFHA の精神とも言えるパリに置かれます。これにより、IFHA とそのメンバーがグローバルかつ劇的に変化する世界の課題に対応してくための強力なプラットフォームが確立されることとなります。ルイの後継者として、また IFHA の第 2 代会長として任命されたことを大変光栄に思います」

同氏は、2007 年から香港ジョッキークラブ (HKJC) の最高経営責任者を務め、IFHA のアジア担当副会長を兼任してきました。また、アジア、オセアニア、アフリカ、中東の 29 の国を代表する競馬統括機関及び競馬関連団体を代表する地域団体、アジア競馬連盟 (ARF) の会長も務めています。

また、4 名の副会長は以下のとおり選出されました。

【アメリカ】 ジム・ギャグリアーノ (米国ジョッキークラブ理事長)

【ヨーロッパ】 ブライアン・カバナー (ホースレーシングアイルランド最高経営責任者を本年 9 月末に退任し、本年 11 月からはカラ競馬場の最高経営責任者に就任予定)

【アジア】 後藤 正幸 (日本中央競馬会理事長)

【その他】 オラシオ・エスポシート (南米競馬機構国際担当アドバイザー)

※副会長は、常任メンバー国の代表者のうち、3 つの競馬主要地域 (アメリカ、ヨーロッパ、アジア) から各 1 名、その他のメンバーから 1 名が選出されることとなっています。